Excavation Division Locations

油圧ショベル事業部拠点一覧

- 明石（日本）
  AKASHI,JAPAN
- シンガポール（シンガポール共和国）
  SINGAPORE,SINGAPORE
- イリノイ州 ピオリア（アメリカ）
  PEORIA,IL,USA
- テキサス州 ビクトリア（アメリカ）
  VICTORIA,TEXAS,USA
- ティルバルール（インド）
  THIRUVALLUR,INDIA
- 徐州（中国）
  XUZHOU,CHINA
- 無錫（中国）
  WUXI,CHINA
- ピラシカバ（ブラジル）
  PIRACICABA,BRAZIL
- グルノーブル（フランス）
  GRENOBLE,FRANCE
- ヴァッカースドルフ（ドイツ）
  WACKERSDORF,GERMANY
- ソスノヴィエツ（ポーランド）
  SOSNOWIEC,POLAND
- ヤヌフ（ポーランド）
  JANOW,POLAND
- ゲデルレー（ハンガリー）
  GODOLLO,HUNGARY
- デンボス（オランダ）
  DEN BOSCH,NETHERLANDS



CATERPILLAR AKASHI PLANT GUIDE

CATERPILLAR®



キャタピラージャパン 明石事業所案内

キャタピラージャパン合同会社（英称：Caterpillar Japan LLC）

■ **横浜オフィス**
〒220-0012　神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1
OCEAN GATE MINATO MIRAI　12階
TEL.045-682-3800

■ **明石事業所 ／ 油圧ショベル開発本部**
〒674-0074　兵庫県明石市魚住町清水1106-4
TEL.078-943-2111
https://www.caterpillar.com/ja.html

History of Caterpillar Akashi

キャタピラージャパン明石事業所の歴史

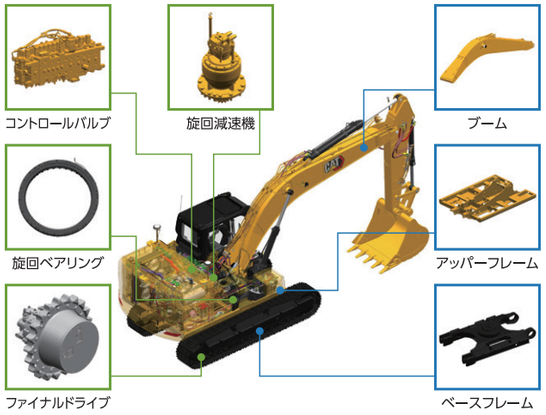
1960	新三菱重工業（現・三菱重工）神戸造船所の建設機械専門工場としてスタート
1961	国産初の油圧ショベルY-35を生産開始
1971	三菱重工業「明石製作所」として独立
1972	MSシリーズを生産開始
1986	油圧ショベル設計センター（HEDC）を設立
1987	キャタピラー三菱と明石製作所が合併し「新キャタピラー三菱」発足
1989	生産累計10万台を達成
1992	世界統一仕様のCAT油圧ショベル300ファミリー「REGA」を生産開始
1996	品質マネジメントの国際規格ISO9001認証取得
1999	環境マネジメントの国際規格ISO14001認証取得
2000	生産累計20万台を達成 Cシリーズを生産開始
2005	Dシリーズを生産開始
2008	生産累計30万台達成 「キャタピラージャパン」に社名変更
2011	Eシリーズを生産開始
2014	Fシリーズを生産開始
2015	生産累計40万台達成
2016	国産初の油圧ショベルY-35が未来技術遺産登録
2017	次世代油圧ショベルを生産開始
2018	Next Generation シリーズ　CAT320 グッドデザイン賞受賞
2022	生産累計50万台達成
2025	キャタピラー100周年・明石事業所65周年

Plant

工場

最新鋭の油圧ショベルは、最先端の環境から生まれる。

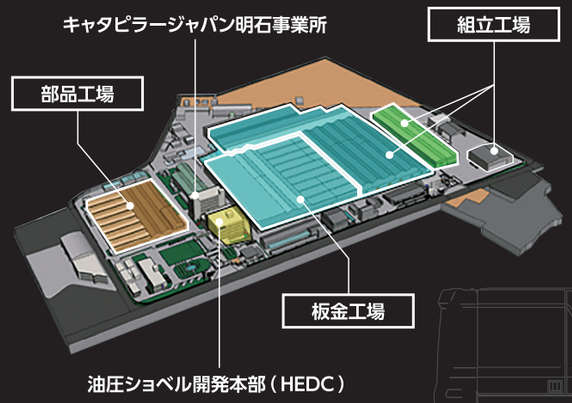
明石事業所は甲子園球場の約６倍、およそ２４万平方メートルの敷地内に3つの工場で、油圧制御の心臓部ともいえるコントロールバルブなどの主要コンポーネントや、骨格を構成する板金構造物を製造しています。キャタピラーグループを代表する油圧ショベルのリーディングプラントとして確かな信頼性に裏付けられた最新鋭の



製品をスピーディーに世界のお客様へ供給していく、その使命を果たすために高い生産効率、高いフレキシビリティ、高品質の実現を目指し、常に「工場革新」に取り組んでいます。



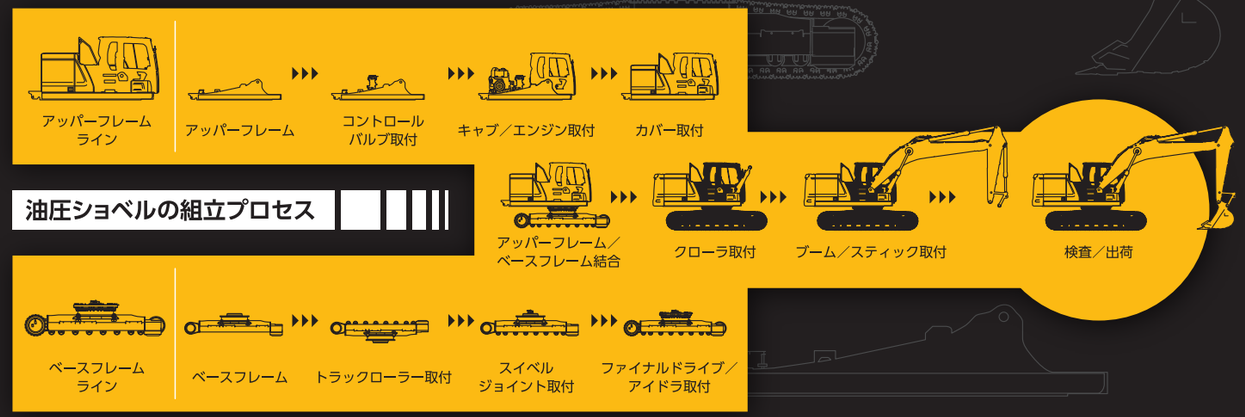




組立工場
Assembly Shop

車両組立
- 油圧ショベル組立ライン
- フロントー艤装ライン
- 運転性能検査
- 出荷検査

部品工場、板金工場で作られたコンポーネントや構造物を組み上げ、「油圧ショベル」として完成させる工場です。
お客様のニーズに1台1台オーダーメイドさせながらの木目細かさで対応し、最短でのリードタイムで製品をお届けする為に、３つの組立ラインで車両を製造することによりフレキシブルな生産体制を確立しています。



部品工場
Components Shop

コンポーネント
- 機械加工 FMS
- 組立セル・検査装置
- 塗装設備
- 中型三次元検査装置

油圧制御の心臓部であるコントロールバルブやパワートレイン装置である旋回ベアリングなどを生産しています。
高精度加工が可能な機械加工設備を導入し、厳しい検査基準をクリアした高精度なコンポーネントを生み出しています。

板金工場
Fabrication Shop

板金・塗装
- 構造物溶接 FMS
- 熱処理・表面処理設備
- 構造物用塗装設備
- 大型三次元検査装置

油圧ショベルの骨格をなす主要構造物（アッパーフレーム・ベースフレーム・ブーム）を生産しています。
強固な構造物を生み出す最新鋭の溶接・加工システムに加え、最新の自動塗装ブースを導入し、高品質な塗装を有した板金構造物を生み出しています。

Development

油圧ショベル開発本部（HEDC）

油圧ショベルの未来が生まれる場所、油圧ショベル開発本部。

キャタピラーグループが全世界に供給する油圧ショベル。それらは油圧ショベル開発本部（HEDC）で開発されます。グローバルネットワークを通じて収集した世界中のマーケット情報や稼働データをトップスペシャリストが徹底分析し、開発コンセプトを策定しています。膨大なノウハウが蓄積された設計ツールを駆使したシミュレーション解析やコンポーネントテストによる検証を繰り返し、設計仕様を練り上げます。
こうして完成した設計図は、海外のキャタピラー工場にも送られ生産に利用されています。

Test & Evaluation

検証

世界のどこよりも過酷なフィールドがある。

信頼の証「CAT®」。そのブランドは、最高品質と性能を備えた製品だけに与えられます。
世界市場へのデビューを果たした次世代 CAT® 油圧ショベル「NGH」は厳しい耐久／性能試験を経て世界へ羽ばたきました。
コンポーネントレベルの各種試験、実機での操作性、生産性、燃費等の性能評価や長期間にわたる連続掘削、悪路走行等の耐久試験を行い、世界中のお客様にご満足いただける信頼性・耐久性を有する油圧ショベルをお届けします。